

流出水銀量は 社側のデータ、

南葉教授語る

西田新日窒水俣工場長が三日、衆議院水俣病調査団に「南葉熊大教授の水銀六百ト説は納得できない」とのべたことについて、同教授はつぎのように語った。

昭和七年から現在まで、同工場から水俣湾に流れた水銀量は六百トだというのは工場側のデータのなかに数年間空白になって

いる欄があり、他の教授とも相談の結果、この空白を埋めた場合六百トになると計算して公表した。